

## 15. 多文化共生について（問43～問44）

問43 豊橋市には約1万8,500人の外国人市民が共に暮らしています。お住まいの地区に外国人市民が増加することをどう感じますか。  
（複数回答：n=2,471）

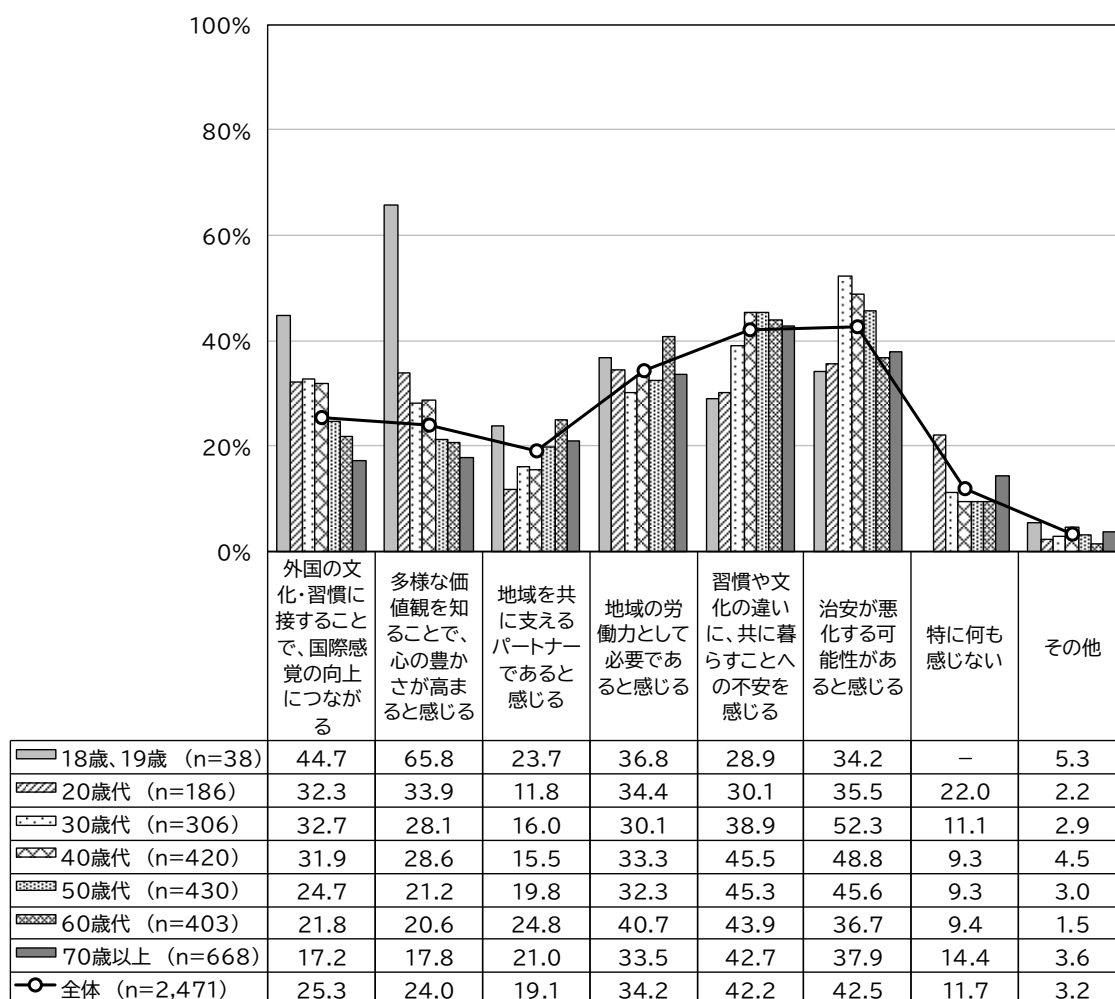
### （1）全体的傾向

「治安が悪化する可能性があると感じる」と回答した人の割合が42.5%と最も高く、次いで「習慣や文化の違いに、共に暮らすことへの不安を感じる」（42.2%）、「地域の労働力として必要であると感じる」（34.2%）と続いている。

### （2）年代別にみた特性

20歳代から50歳代は、「治安が悪化する可能性があると感じる」と回答した人の割合が35.5%～52.3%と最も高くなっている。

また、60歳代以上は、「習慣や文化の違いに、共に暮らすことへの不安を感じる」と回答した人の割合が42.7%～43.9%と最も高くなっており、18歳、19歳は、「多様な価値観を知ること、心の豊かさが高まると感じる」と回答した人の割合が65.8%と他の年代と比べ高くなっている。



問4 4 外国人市民と共に暮らしやすい社会にしていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答：n=2,432）

（1）全体的傾向

「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知」と回答した人の割合が79.5%と最も高く、次いで「外国人市民のための相談体制の充実や、多言語での情報提供」（55.7%）、「外国人市民への日本語の学習機会の提供、外国人市民の児童・生徒の教育の充実」（46.5%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知」と回答した人の割合が最も高く、74.9%～82.9%と7割を超えている。

